



キリスト者必読 生涯学習のための教会論

- ・原始教会が自己理解を深めてユダヤ教から独立する経緯、礎となる使徒の役割や宣教方針の大転換から始まり、徐々に確立された聖書の正典、教義、諸秘跡、職制、信仰生活、終末観、救済、他宗教との関わり等について、教会の本質と使命を中心に、わかりやすく学べる。
- ・神の愛と救いの業を伝え、証しし、奉仕するための、信徒養成講座とカテキスタ養成講座が元。
- ・『キリスト者必読 生涯学習のためのキリスト論』(2021年末発行)の姉妹編。

著 百瀬 文晃

イエズス会司祭。神学博士。

1940年生まれ。1970年フランクフルトで司祭叙階。帰国後は上智大学神学部で教義学を教える。2001年アテネオ・デ・マニラ大学ロヨラ神学部で客員教授。2007年よりカトリック広島教区で司牧に従事し、現在に至る。

著書に『キリスト者必読 生涯学習のためのキリスト論』『ここが知りたいキリスト教への25の質問』『キリスト教の輪郭』『キリストに会う』『子どもたちと読む聖書』(女子パウロ会)、『キリストとその教会』(サンパウロ)他がある。

- | | |
|------|--|
| 第一章 | 教会の始まり：イエスの遺志の実現/信仰による新しいイスラエル/ユダヤ教からの独立 |
| 第二章 | 使徒たちとパウロ：イエスの選んだ「使徒」の役割/パウロの召命/パウロの宣教旅行/他 |
| 第三章 | イエスの名による洗礼：イエスの名による洗礼の新しい意味/「キリストの体」という共同体への組み入れ/他 |
| 第四章 | 一致の中心である主の晩餐：主の晩餐のもつ犠牲と食事の性格/「記念」の意味/聖体の秘跡/他 |
| 第五章 | 赦しと和解の使命：キリストの死と復活がもたらした神との和解/世界の和解のための教会の使命/他 |
| 第六章 | 共通祭司職と役務：キリストの祭司職への参与/教会の職制の発展/叙階の秘跡/現代のカテキスタの役割 |
| 第七章 | 教導職とは何か：キリストが教会に与えた真理の保証/無謬性の担い手と教義の制定/ローマ教皇の首位権 |
| 第八章 | 結婚と修道生活：創造の秩序における男性と女性/イエスの女性観/結婚の秘跡/他 |
| 第九章 | 教会の四つの特性：教会の分裂と一致への道/日本のキリスト教の主な教派/他 |
| 第十章 | 教会外に救いはないのか：「教会外には救いはない」という標語の歴史/救いの普遍的な秘跡としての教会/他 |
| 第十一章 | 世の終わり教会：歴史の終末と「教会の時」/「体の復活」が包含するもの/「永遠のいのち」への希求/「裁き」「地獄」「煉獄」などのイメージ/病者の塗油の秘跡 |
| 第十二章 | 聖母マリアと聖徒の交わり：聖母マリアの「無原罪」と「被昇天」の教義/「聖徒の交わり」/他 |

定価1,485円(本体1,350円+税) 四六判 212頁 並製 ISBN978-4-7896-0830-5 C0016